

## FIGHTING NEXUS ジュニア特別ルール

### ■競技用具

試合時に必ず着用しなければならない競技用具

#### ・拳サポーター

フルコンタクト空手等で使用される拳サポーター。

#### ・スネサポーター

金具、マジックテープのない、全面布製タイプのサポーターを使用して下さい。

#### ・ヒザサポーター

金具、マジックテープのない、全面布製タイプのサポーターを使用して下さい。

#### ・ファールカップ

競技上支障がないと判断されたものを着用する。プラスチック製でも可

#### ・マウスピース

常に装着した状態で試合をする事。

競技中に、偶然外れた場合、タイムを取って適時に装着させる。

#### ・コスチューム

競技者は下記の要件を満たしたものを着用する。

- ①金属・プラスチックの部品が使用されていないもの
- ②着用時にズレない為の加工がされているもの
- ③ポケットや紐に類するものが表面についていないもの
- ④競技上支障がないとはんだんされたもの

※著しく消耗、破損しているサポーターは使用しないで下さい。

全ての装具・コスチュームは清潔で破損のないものを使用して下さい。

また競技上支障がないか判断しかねるものは心技館遠藤までご連絡下さい。

当日、試合前に試合総具・コスチュームをチェックいたします。

## ■試合時間

試合時間は3分1ラウンドする。

ストップのコールが掛かるまで、基本ランニングタイムで試合は進行します。

## ■勝敗

試合の勝敗は以下のとおりとする。

- ・打撃による KO
- ・打撃・サブミッションによる一本勝ち
- ・ポイントによる優勢勝ち(有効<技有<一本)
- ・ジャッジ3名による判定勝ち
- ・反則3回、およびレフリーが悪質と判断した場合による反則負け
- ・レフリーが危険と判断した場合によるレフリーストップ
- ・レフリーが続行不可と判断した場合によるレフリーストップ

## ■判定基準

判定はジャッジ3名による判定とする。

判定基準の優先は、アグレッシブ>ダメージ(スタミナ)>ポジショニングとする。

※試合結果の異議申し立てについては試合終了日から起算して20日以内

## ■ポイント基準

ポイントは有効<技有<一本の順に優勢とする。

- ・一本の基準

技が勢いよくクリーンヒットし、ダメージが顕著に出た場合、または技あり二つとする。

- ・技有の基準

技がクリーンヒットしダメージが出る、もしくは考えられる場合、または有効二つとする。

- ・有効の基準

ハイキックがクリーンヒットした場合、攻撃ラッシュにより一方的に相手を下がらせた場合。

## ■反則

反則は軽微なものは口頭注意から、改善が認められない場合は注意(反則 1)、更に反則をした場合は警告(反則 2)、更に反則をした場合は失格(反則 3)となります。

### 【主な反則】

- ・足の甲、スネ以外による全ての頭部への打撃
- ・脊髄へのあらゆる攻撃
- ・一方がグラウンドポジションでの両者のあらゆる打撃
- ・グラウンドから立ち上がる際、レフリーがスタンドとコールする前の両者のあらゆる打撃
- ・指先、足先への打撃行為
- ・スタンド状態でのすべての関節技
- ・バスター、または投げ技の際に頭部から落とす行為
- ・相手の指、競技道具、衣類をつかむ行為
- ・金的、目への攻撃、または指による突き攻撃、または道徳上許されない行為
- ・ダウン中への相手への攻撃
- ・故意にリングの外に出る行為
- ・整髪料、ワセリン、体にオイルを塗付する行為
- ・レフリーへの抗議、罵倒、暴力行為、または指示に従わない行為

※その他の反則はレフリーの判断とする

## ■ポイントと反則

ポイントの優劣は有効く技有く一本とする。

ポイントは有効二つで技有、技有二つで一本となります。

反則は注意(反則 1)が有効と同一ポイント、警告(反則 2)が技有りと同一ポイント、失格(反則 3)が一本と同一ポイントとする。

ポイントと反則は独立した関係となる為、たとえ有効ポイントと相手が注意(反則 1)を取ったとしても技有にはならない。

ポイントと反則で優劣が拮抗した場合、判定となるが反則を考慮した上での旗判定とする。

## ■関節技注意点

立関節技や体重を浴びせた関節技は一切禁止です。

足関節技はアキレス腱固め、膝十字のみ、足関節技をかける際の外掛けは有効とする。

技をかける際、相手後頭部を引っ張る、圧迫する行為は禁止とする(相手の頸椎損傷を防ぐため)

関節技に関しては、形になった時点で基本的にレフリーの見込みでストップとする

その他わからない事があれば、心技館遠藤までご連絡いただきますようお願い致します。

心技館 046-266-4266

遠藤 090-3511-7489

✉ [yusuked.endo@i.softbank.jp](mailto:yusuked.endo@i.softbank.jp)